

## 第 14 回駿河海岸保全検討委員会 議事要旨

日 時：令和 4 年 10 月 28 日(金) 13:00～14:00

場 所：パルシェ 7F C 会議室 (Web 併用)

出席者： 高知工科大学 佐藤教授  
名古屋大学大学院 水谷教授  
静岡大学 原田准教授  
国土技術政策総合研究所 加藤海岸研究室長  
静岡県交通基盤部 望月河川砂防局長  
中部地方整備局河川部 野々村河川調査官 (Web 参加)  
中部地方整備局静岡河川事務所 立松事務所長

### 1. 議事

○資料 1：住吉工区の粘り強い海岸堤防の構造検討について

- ・直立堤と天端被覆を一体化させることにより粘り強さの効果を発揮しているため、その部分を担保する設計が重要となる。
- ・今回提示された構造で 5 分以上の粘り強さが確保されることが確認できた。引き続きこの結果を踏まえ、具体的な構造検討を進めていけばよいと考える。

○資料 2：モニタリングの実施状況について

- ・UAV を活用した測量についてグリーンレーザーを使って、深浅測量までやるとコスト的に厳しいということは理解した。グリーンレーザーを用いなくても、陸上部分の写真測量等を用いることができるので、陸上部分は安価で詳細な測量ができるようになると思われる。
- ・グリーンレーザー測量と漁船ビッグデータの間で測量できない部分があるため、河口域のような両者の境にある地点の測量が可能か検討を進めてもらいたい。
- ・モニタリング手法を数種類検討しており、その中から組み合わせてうまく活用していくことになると考えているが、各手法の活用のタイミング等についても整理いただいた方がよい。
- ・引き続き、各手法のより詳細な事項について、今後の検討の中で進めていきたいと考える。

以上